

松徳 憲二 議員



一括質問方式

- ① マイナンバーカード普及事業
- ② 矢落川治水・新谷地区内水対策
- ③ コミュニティタイムライ
ン策定の取り組み

マイナンバーカード普及事業について

問 カード取得者に買物等割引チケットを追加配布する予算が計上されているが、どの程度まで普及率が伸びると想定しているか。

答 マイナンバーカードは、オンラインで本人確認ができ、今後のデジタル社会の基盤として不可欠なもので、国において普及拡大に向けた取り組みが加速しています。

本市では令和3年1月から6月までを普及促進強化期間としてカード

取得者1人当たり7,500円分のおおず買物等割引チケットを配布し、感染症の影響を受けている店舗や事業所への支援拡充事業と連携することで交付枚数3万枚、交付率70%を目標に普及促進したいと考えています。

矢落川治水・新谷地区内水対策について

問 肱川の完成堤防によって水位が従来の洪水時より上がることで矢落川の水位も上がり堤防漏水や決壊のおそれが高まるのではと心配している。完了後に平成30年7月と同規模の洪水が発生した場合、水位はどうなる見込みか。

答 現在、肱川緊急治水対策で堤防整備が進められ、対策中期の令和5年度頃には暫定堤防のかさ上げを含む堤防整備が完了し、平成30年7月洪水を越水させずに流下できる状況となります。また、対策後期の令和10年度頃までには河道掘削や山鳥坂ダムの完成で平成30年7月洪水を安全に流下させるよう整備を進めています。

矢落川の堤防は、肱川の背水を考慮したバック堤として築堤され、東

大洲の暫定堤防及びJR橋付近を除き既に堤防整備が完了しています。そのため、肱川本川及び東大洲の暫定堤防等の築堤事業が完成すると、肱川本川の洪水時の水位は高くなり矢落川も肱川からの背水の影響が生じます。

平成30年7月と同規模の洪水が発生した場合の矢落川の水位は、雨の降り方やダム熟练操作にもよりますが、一定の上昇は見込まれますが堤防からあふれることなく洪水が流れると伺っています。

コミュニティタイムライン策定の取り組みについて

問 新谷地区で取り組んでいるコミュニティタイムラインも防災力向上の一つのツールだが、他の地域へも広げていく考えはあるか。

答 コミュニティタイムラインは、肱川流域タイムラインの効果を上げるため、避難の準備や行動の開始、あるいは住民への注意喚起や避難所の開設など、地区が実施することや市と調整、共有することを取りまとめた計画です。

計画策定では、自主防災組織、区

長、民生児童委員、消防団など多数の皆様で、地域で起こり得る災害を認識し、地域が一体となって危機感を共有し対応することができるよう、自分たちの命は自分たちで守るために地域でできることを検討するのが一番の目的です。

また、検討した内容を基に想定した災害が進行していく段階ごとに、個人をはじめ自主防災組織、消防団や民生児童委員など、誰がどのような行動をするのか取りまとめた計画表や情報伝達系統図などが作成される予定です。

これらの取り組みを通じて、地域で行うべき行動を整理し共有することが早めの行動につながり、地域住民はもとより消防団などの現場対応者の待避、危険回避も期待され、地域防災力の向上が図られると期待しています。

大洲市では、これまでに策定済みの肱川流域タイムライン及び大洲市タイムライン、そしてコミュニティタイムライン、さらにマイタイムラインが連携することで、より確実な避難行動になることを目標に取り組んでいます。